

ランピースキン病

ランピースキン病は、ウイルスによる牛の伝染病です。
主に、蚊、ハエ、ダニの媒介による機械的伝播や、感染した牛の移動により感染が拡大します。

感染した牛は、全身の皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の減少などの症状を呈し、生産性に影響を及ぼします。

本病は、2024年11月から翌年1月にかけて、国内（福岡県、熊本県）の牛230頭に確認されました。自主淘汰等により、現在、発症牛は認められていません。

ランピースキン病を疑う症状

発熱、鼻汁
皮膚の結節
泌乳量の低下
リンパ節の腫大



疑わしい場合は
直ちに連絡！



写真提供：モンゴル国中央獣医学研究所
(State Central Veterinary Laboratory in Mongolia)

ココに注意！

- ・感染牛は、家畜伝染病予防法の規定に基づき殺処分されます。
- ・本病発生農場であっても、非感染牛の肉や生乳は安全とされ、と畜場に限り出荷が認められています。
- ・感染牛の肉や乳が市場に出回ることはありません。
- ・ランピースキン病は、人に感染することはありません。

ランピースキン病の感染拡大防止！

車両や人による

農場から農場への伝播を防止しましょう

ランピースキン病は、主にサシバエ等による機械的伝播により感染が拡大しますが、車両や人もウイルスを運ぶ可能性があります。

車両がウイルスを運ばないために

農場の自家用車、集乳車、飼料運搬車、獣医師、人工授精師、薬品・資材業者、家畜運搬業者、関係団体など農場に出入りする全ての車両

- 農場に出入りする**全ての車両**は**洗浄・消毒、殺虫**を徹底！
- 車内に入り込んだサシバエ等も、確実に殺虫！

特に寒い時期、サシバエ等は温かい車両に集まりやすく、車内にも侵入します。

車体に
集まったハエ



資材（牧草ロールや敷料など）にもサシバエ等が入り込む可能性があるため、搬入時確認！

人がウイルスを運ばないために

特に獣医師、人工授精師等、牛に直接触れる者

- 農場ごとに**専用の衣服、長靴（ブーツカバー）**交換の徹底！
- **注射針、人工授精用器具等**は確実に一頭ごとに交換又は消毒！
- **聴診器等、皮膚に接触する器具**も適切に消毒！

農場から農場への感染拡大防止！



岩手県中央家畜保健衛生所
岩手県県南家畜保健衛生所
岩手県県北家畜保健衛生所

〔TEL〕 019-688-4111

〔FAX〕 019-688-4012

〔TEL〕 0197-23-3531

〔FAX〕 0197-23-3593

〔TEL〕 0195-49-3006

〔FAX〕 0195-49-3008